

※目標値（R2）内の「延べ」は計画期間（6年間）の合計値  
 改善・悪化：改善○，維持△，悪化×，未実施-  
 達成度：順調A，要改善B，未実施-

## 第1期総合戦略の具体的施策 現時点における成果と見直し

### ①地域で暮らすためのしごとをつくる

#### (i)基本目標

江田島市生まれの若者や移住希望者の居住地などとして選択されるため，例え小規模であっても地域で暮らすための「仕事」づくりを推進します。

目標指標	基準値 (H26)	実績値					目標値 (R2)
		(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	
創業・起業の年間件数（件）	3	9	10	15	9	7	12
農・水産業の後継者・担い手の育成（人）	延べ2	延べ6	延べ7	延べ9	延べ10	延べ10	延べ11

#### (iii)具体的施策・施策ごとの重要業績評価指標

#### ■施策① 農林業の振興

指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	R1			目標値 (R2)	
						実績	改善・ 悪化	達成度		
有害鳥獣による農作物年間被害額（千円）	22,585	20,563	20,975	19,847	18,857	18,092	○	A	20,000	
重要 業績 評価 指標 (KPI)	<b>《成果と見直し》</b> 農業従事者の減少等により，有害鳥獣による農作物年間被害額が年々減少しているが，依然として被害額は多く，その大半がイノシシによるものである。イノシシ 110 当番で被害防止の相談対応を行うとともに，研修会の開催，地域の人々を対象にした総合的な被害対策の取組強化及び加害個体の効率的な捕獲について，啓発を行っている。 令和元年度は，地域を主体とした被害対策（生活環境被害の防止）の取組として，モデル地区（飛渡瀬地区）で地域セミナーを2回開催した。これにより，イノシシに対する防除意識が芽生えつつあるので，市内に広げていく。 これらの取組に加えて，今後は地域を主体とした「総合防除」（「防除」，「環境改善」，「捕獲」の一体的な取組）を行うことで，市民の有害鳥獣に対する防除意識をより一層高め，被害額の軽減を目指す。									
	農業の後継者・担い手の育成（人）	延べ2	延べ4	延べ5	延べ6	延べ7	延べ7	△	A	延べ5 →延べ8 (H29 変更)
	<b>【目標値変更理由（H29）】</b> 平成 31 年度（令和元年度）目標値（延べ5）を達成したため，目標値を上方に変更する（延べ8）。									
<b>《成果と見直し》</b> 現在，野菜（きゅうり）の研修生を1名受け入れており，新規就農者数は，順調に増えてきている。 今後について，研修制度の内容及び周知の改善を図り，研修修了生の就農先の農地の確保を地域農業者及び農業委員会と連携して進めていく。										

指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	R1			目標値 (R2)
						実績	改善・ 悪化	達成度	
オリーブ栽培の面積 (ha)	22.6	24.6	26.1	27.1	28.1	28.8	○	A	35.0 →29.9 (R2 変更)
重要業績評価指標 (KPI)	【目標値変更理由 (R2)】 令和元年度に行った江田島市オリーブ振興計画の変更に伴い、目標値 (35.0) を下方に変更する (29.9)。								
	《成果と見直し》 令和元年度は、苗木計画本数 1,500 本に対して苗木申込本数 474 本であり、計画数値には達しなかった。令和元年度までの取組や実績を踏まえ、江田島市オリーブ振興計画の変更を行い、令和2年度の苗木計画本数を 700 本にするとともに、目標値を変更した。 6次産業化への取組として、江田島市オリーブ振興協議会が所有する搾油機を、販売用オイルが搾油できるように運用変更して、3事業者が新商品を開発している。 今後も、補助制度や6次産業化に関する情報を早期に市民に周知して、耕作放棄地の減少や所得向上に努める。								

## ■施策② 水林業の振興

指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	R1			目標値 (R2)
						実績	改善・ 悪化	達成度	
かきの大規模消費地への年間共同出荷量 (t)	0	0	0	0	-	-	-	-	3
鮮度の高いかきの生産・出荷体制の構築 (%) (H29 指標変更)	0	37.5	43.8	50.0	37.5	25.0	×	B	100
重要業績評価指標 (KPI)	【指標変更理由 (H29)】 大規模消費地への年間共同出荷量については、選別作業などに係る作業に見合った評価が得られないとの生産者の意見もあり、取組を中止した。新たな指標として、鮮度の高いかきの生産・出荷体制の構築 (%) を設定する。								
	《成果と見直し》 令和元年度において、海水氷製氷機を利用したかき養殖業者は4業者であり、平成30年度の6業者から2業者減少している。減少の背景には、かきの身入りが悪く、海水氷を入れることでかきの身が萎むことから、仲買業者が海水氷の使用を嫌ったため、かき養殖業者が利用を断念したことなどが挙げられる。 今後も、地元漁業協同組合と連携して、海水氷を使用した際のメリット（細菌や臭いが抑えられること）を他の未利用事業者へ周知し、利用者の増加に努める。								
	水産業の後継者・担い手の育成 (人)	0	延べ2	延べ2	延べ2	延べ3	延べ3	△	A
《成果と見直し》 平成30年度に長期研修を修了 (H31.3.18) して独立した新規漁業者が1名おり、同年度において、水産業の後継者・担い手の育成人数の目標値 (延べ3人) を達成した。 令和2年度の長期研修の修了予定者はいないが、相談等があれば、これに応じる。									



## ②交流人口の増加を図り、江田島市との「縁」を有する人を増やす

### (i)基本目標

来訪経験者などの増加を図り、江田島市に「縁」を有する人を増やすとともに、移住・定住を支援する体制の構築を図り、安心して暮らし続けることができる生活環境の整備を行います。

目標指標	基準値 (H26)	実績値					目標値 (R2)
		(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	
年間総観光客数（万人） ※市内外からの観光客の総数	54	54	54	63	55	52	69
定住促進策を利用した移住者数（人）	延べ229	延べ246	延べ269	延べ293	延べ315	延べ327	延べ379

### (iii)具体的施策・施策ごとの重要業績評価指標

#### ■施策① 観光の振興

重要業績評価指標 (KPI)	指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	R1			目標値 (R2)
							実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績評価指標 (KPI)	体験メニュー数（プログラム）	6	12	13	14	14	17	○	A	9→15 (H29 変更)
	【目標値変更理由（H29）】 体験メニュー数（プログラム）は、観光協会と協力して新規体験メニューを開発しており、平成31年度（令和元年度）目標値（9）に達したため、目標値を上方に変更する（15）。									
	<b>《成果と見直し》</b> 「コト消費」と呼ばれるように観光も体験型に移行しているが、新型コロナウイルス感染症により、観光客が減少している。コロナ終息後を見込み、引き続き、観光協会と連携しながら、本市の環境を生かした更なる体験メニューの充実に取り組む。									

## ■施策② 都市基盤の整備

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	R1			目標値 (R2)
							実績	改善・ 悪化	達成度	
重要 業績 評価 指標 (KPI)	市道の整備延長 (m) ※市道総延長 281km	単年 218	単年 403 延べ 403	単年 242 延べ 645	単年 244 延べ 889	単年 62 延べ 951	単年 133 延べ 1,084	○	A	延べ 1,037 →延べ 1,200 (R2変更)
	<b>【目標値変更理由 (R2)】</b> 令和元年度末で、令和2年度目標値 (延べ 1,037) を既に上回ったため、上方に変更する (延べ 1,200)。									
	<b>〈成果と見直し〉</b> 令和元年度の工事实績により、令和2年度の目標値が達成できた。 引き続き、通学路などについて、毎年点検し、整備が進んでいない箇所については、計画に沿って整備を実施する。									
	橋梁の長寿命化更新数 (橋) ※橋梁総数 252 橋	単年2	単年4 延べ4	単年1 延べ5	単年2 延べ7	単年4 延べ11	単年0 延べ11	×	B	延べ27
	<b>〈成果と見直し〉</b> 平成30年7月豪雨災害に伴う復旧工事を優先したため、計画どおりに実施できなかった。 今後も、重点事業として実施に取り組む。									

### ■施策③ 都市との交流・定住の促進

重要業績評価指標 (KPI)	指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	R1			目標値 (R2)
							実績	改善・悪化	達成度	
体験型修学旅行等の受入人数 (人)		単年 1,719	延べ 3,468	延べ 5,876	延べ 9,994	延べ 14,027	延べ 18,839	○	A	延べ 13,000 →延べ 18,000 (R1変更)

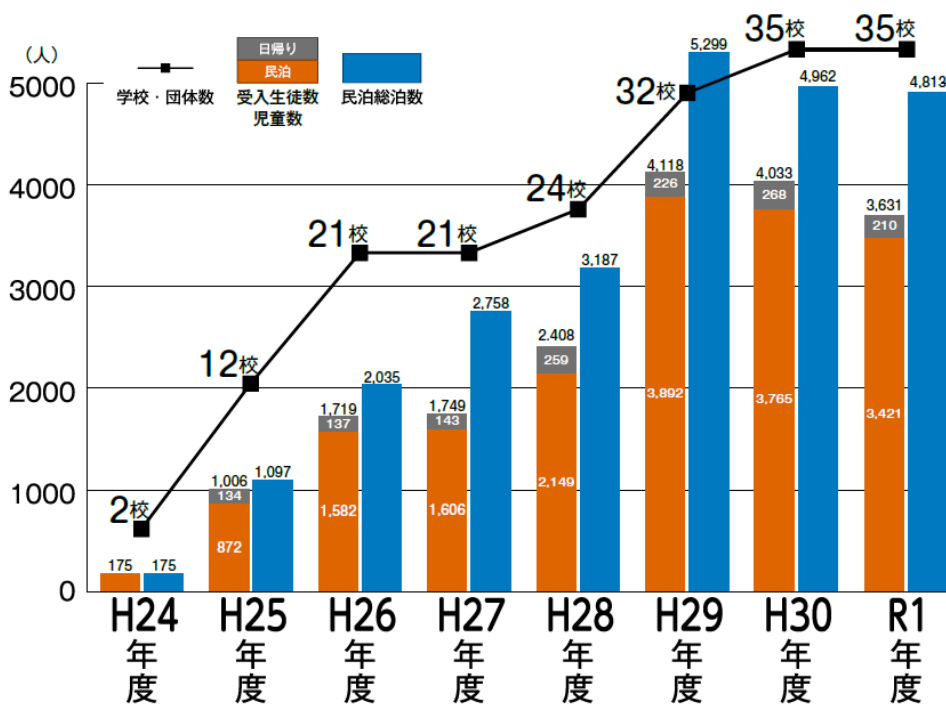
#### 【目標値変更理由 (R1)】

これまでの受入実績や営業活動の成果により、平成 31 年度 (令和元年度) 目標値 (13,000) に達したので、目標値を上方に変更する (18,000)。

#### 《成果と見直し》

過去に受け入れた学校からの高い評価や各方面への営業活動により、リピーター校だけでなく、新規校も増加しており、受入校数が増加している。しかしながら、新型コロナウイルス感染症による民泊休止により、受入家庭の減少が進むことが想定され、また、再開後の感染症対策の徹底も課題となっている。

今後も引き続き、研修会の開催や広報など、民泊家庭の育成や勧誘活動に加え、民泊家庭の人脈を活用した推薦による勧誘も強化していく。



### ③子どもが生まれ、育つ江田島市づくりを進める

#### (i)基本目標

江田島市の教育や子育てなどの環境づくりを総合的に進めることにより、次代を担う世代の確保を図ります。

目標指標	基準値 (H26)	実績値					目標値 (R2)
		(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	
合計特殊出生率	1.47 H24 数値	※ 人口動態統計において 5年ごとに数値を公表		1.62 H29 数値	※ 人口動態統計において 5年ごとに数値を公表		現状より 上昇
市民満足度調査の子育て支援サービスの充実の満足度 (%)	55.5	56.7	56.4	57.0	57.3	59.5	60

#### (iii)具体的施策・施策ごとの重要業績評価指標

##### ■施策① 学校教育の充実

指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	R1			目標値 (R2)	
						実績	改善・ 悪化	達成度		
広島県「基礎・基本」定着状況調査平均通過率3ポイント以上の教科の割合 (%)	57.1	0	85.7	71.4	-	-	-	-	85.7	
重要業績評価指標 (KPI)	<b>〈成果と見直し〉</b> 指標としていた広島県「基礎・基本」定着状況調査が廃止されたため、平成30年度に続き令和元年度も、全国学力・学習状況調査の結果（実績値は、算出できない。）に基づき、授業改善を推進した。 今後は、「学びの変革」推進協議会を中心に更なる学力向上に向けた取組を推進する。また、令和2年度から江田島市小中学校学力調査を実施する予定である。しかし、令和3年1月に調査を実施する方向で準備中であり、今年度については、調査結果を指標としない。									
	ふるさとへの愛着を実感した意識調査（中学校2年生）の割合 (%)	80.7	87.4	88.1	77.5	78.0	90.0	○	A	85
	大柿高校の定員充足率 (%)	54.2	61.7	64.1	60.8	76.7	81.7	○	A	66.7
重要業績評価指標 (KPI)	<b>〈成果と見直し〉</b> 生活科，理科，社会，道徳，総合的な学習の時間などを通して，江田島のよさを実感できるような教育を推進しており，前回より大幅に数値が改善した。 今後，各教科等の取組内容を見直すとともに，さらに総合的な学習の時間の一層の充実を図る取組として研究グループの効果的な活用を検討し，ふるさとへのよさを実感できるような教育を推進する。									
	大柿高校魅力化コーディネーターを配置して市内の中学校へ大柿高校の魅力を発信する取組や大柿高校の教育活動を充実させるための支援を行った結果，定員120人に対して，生徒数は98名（81.7%）となり，目標値である80名（66.7%）を充足した。 今後，定員充足率が継続して目標値を上回るとともに，市内からの進学者の増加につながるよう事業内容を改善しながら取組を進める。									

■施策② 子育て環境の充実

指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	R1			目標値 (R2)	
						実績	改善・ 悪化	達成度		
一時預かり保育の年間利用者数(人)	778	699	610	-	-	-	-	-	1,000	
就学前児童(3~5歳)に対する保育施設入園率(%) (4月1日現在) (H29指標変更)	86.2	89.8	95.2	95.6	93.3	96.2	○	A	99.0	
<p>【指標変更理由(H29)】 一時預かり保育の年間利用者数は、入園基準となる就労時間の緩和や一部の保育園を認定こども園とすることによって保育園入園基準が緩和された。その影響により、一時預かり保育から標準入園に移行されたため、適切な指標とならなくなったため。</p>										
重要業績評価指標(KPI)	<p>《成果と見直し》 認定こども園では、保護者の就労の有無にかかわらず、保育を実施することができる。 また、令和元年10月から始まった教育・保育無償化に伴い、令和元年度の実績値が改善した。 今後も、入園率は高くなることが予想されるため、それぞれの園において特色のある保育事業を展開していくことにより、満足度の高い教育・保育を目指す。</p>									
	未満児(0~2歳児)の入園率(%)	26.5	33.3	26.4	-	-	-	-	-	50
	就学前児童(0~2歳)に対する保育施設入園率(%) (4月1日現在) (H29指標変更)	26.7	28.1	33.3	33.3	34.2	39.0	○	A	35.0
<p>【指標変更理由(H29)】 上記の指標との文言を統一したこと及び指標の基準日を4月1日現在に統一したため。</p>										
<p>《成果と見直し》 平成30年度からは、生後6か月からの受入れを実施し、子育て家庭の支援を行っている。 さらに、育児休暇制度の普及や令和元年10月から始まった教育・保育無償化に伴い、目標値を達成することができた。 今後も、入園率は高くなることが予想されるため、引き続き、受入体制を整え、満足度を高めていく。</p>										



#### ④市民満足度が高く、時代に即した「住み続けたいまち」をつくる

##### (i)基本目標

これまで暮らしてきた方や新たに移住してきた方が、「住み続けたいまち」と実感できる市民満足度が高いまちをつくるため、安心・快適に暮らせる地域の機能の充実を図ります。

目標指標	基準値 (H26)	実績値					目標値 (R2)	
		(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)		
市民満足度調査の全項目平均割合 (%)	54.6	55.1	55.2	55.5	55.6	55.7	60	
市民アンケート調査による江田島市への愛着があると答えた割合 (%)	62.5 H25 調査	- ※5年に1回の調査のため					65.4	70

##### (iii)具体的施策・施策ごとの重要業績評価指標

###### ■施策① 生涯学習の充実

重要業績評価指標 (KPI)	指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	R1			目標値 (R2)
							実績	改善・悪化	達成度	
重要業績評価指標 (KPI)	公民館類似施設の年間利用回数 (人/回)	3.29	3.47	3.60	3.42	3.37	3.21	×	B	3.6
	<b>《成果と見直し》</b> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月に予定していた公民館・市民センターまつりが中止になり、利用者が減少した。 引き続き、利用者のニーズ把握に努め、新規利用やリピーターの確保に向け、事業を進めていく。									

指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	R1			目標値 (R2)	
						実績	改善・ 悪化	達成度		
図書館の利用登録者数人口比率 (%)	46	47	49	55	57	60	○	A	50→56 (H30 変更) →58 (R1 変更) →61 (R2 変更)	
重要 業績 評価 指標 (KPI)	【目標値変更理由 (H30)】 平成 29 年度末で、平成 31 年度 (令和元年度) 目標値 (50) を既に上回ったため、上方に変更する (56)。									
	【目標値変更理由 (R1)】 平成 30 年度末で、平成 31 年度 (令和元年度) 目標値 (56) を既に上回ったため、上方に変更する (58)。									
	【目標値変更理由 (R2)】 令和元年度末で、令和 2 年度目標値 (56) を既に上回ったため、上方に変更する (61)。									
	<b>《成果と見直し》</b> 2 館 2 室の共同企画による「本でめぐる江田島しましまスタンプラリー」の事業や相互貸借制度が市民に浸透したこと、2 館 2 室どこの図書館 (室) でも返還できる「借りやすく、返しやす」環境になっていること、令和元年 8 月から市民サービスセンター等での予約図書の貸出・返却サービスを実施したことなどにより、上昇につながった。 今後も、年齢・世代別及び障害者など利用者に応じた図書館サービスの充実に取り組む。									

## 施策② スポーツの振興

指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	R1			目標値 (R2)	
						実績	改善・ 悪化	達成度		
社会体育施設の年間利用 回数 (人/回)	3.53	3.91	3.86	3.82	3.34	3.52	○	B	3.8	
重要 業績 評価 指標 (KPI)	<b>《成果と見直し》</b> 平成 30 年 7 月豪雨災害の影響による利用中止期間のため、平成 30 年度数値が減少したことから、当該数値を大きく上回ることができたが、目標値を達成することはできなかった。 引き続き、既存スポーツ施設の管理運営体制の強化・見直しの検討と併せ、設備、備品などの充実を図る。									
	スポーツ少年団 (小学 生) の加入比率 (%)	24	24	21	29	31	26	×	B	26
	<b>《成果と見直し》</b> チーム数が 1 つ減少し、加入者も減少したが、目標値は達成することができた。 今後、新規団体の加入が見込みにくく、少子化の影響で加入比率の減少が避けられないため、スポーツ少年団の PR と指導者の養成支援に取り組み、現団体の団員数の増加に努める。									

■施策③ 保健・医療の充実

指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	R1			目標値 (R2)	
						実績	改善・ 悪化	達成度		
がん検診受診率 (%)	胃 10.9 肺 18.7 大腸 22.0 子宮頸がん 28.5 乳がん 28.2	胃 4.0 肺 7.5 大腸 9.2 子宮頸がん 15.7 乳がん 14.8	胃 8.0 肺 8.2 大腸 9.8 子宮頸がん 19.0 乳がん 17.5	胃 8.8 肺 8.8 大腸 10.4 子宮頸がん 18.0 乳がん 17.9	胃 7.5 肺 6.7 大腸 7.5 子宮頸がん 16.1 乳がん 15.4	胃 5.9 肺 6.9 大腸 7.5 子宮頸がん 15.9 乳がん 10.4 ※暫定値	×	B	胃 16.0 肺 24.0 大腸 24.0 子宮頸がん 25.0 乳がん 30.0	
重要 業績 評価 指標 (KPI)	<p>＜成果と見直し＞</p> <p>子宮頸がん検診及び乳がん検診については、国の指針に準じて「隔年受診」としていたが、精査したところ、平成 30 年度に受診しているにもかかわらず、継続して受診する人がいた。これを改善するため、対象者を「年度末に偶数年齢の人」と定めたことで、受診者は減となった。</p> <p>個別健診は、江田島市、呉市及び広島市の 41 医療機関に委託して実施した。これまで、集団健診会場の見直し、個別健診の受診期間延長、休日健診の実施、受診勧奨通知の送付等、受診率向上に取り組んできたが、受診率は伸び悩んでいる。子宮頸がん検診は、20 代前半の人の受診率が低いことから、成人式に合わせて「受診勧奨チラシ」を配布する等の勧奨を行う。</p> <p>受診しない理由として、市民の「検診」に対する意識の低さが考えられる。「健康」には多くの市民が関心を持っているものの、そこから「検診受診」につなげていない現状がある。</p> <p>今後は、自治会等と連携して、「毎年検診を受診しよう」という地域全体の意識改革に取り組む。</p>									
	メタボリックシンドローム該当者及び予備群該当者の割合 (%)	30.6	29.5	29.0	31.3	33.2	33.3	×	B	27.0
	<p>＜成果と見直し＞</p> <p>平成 30 年度と比較して大きな変動はなかったが、国 (29.6%)・県 (30.4%) と比較すると、依然として高い割合である。特定保健指導において、生活習慣改善の意欲を高めるため、内蔵脂肪計を導入して実施したが、実施者数が少なかったため、大きな成果がなかった。</p> <p>今後は、地域に出向き、より多くの人に対し、内蔵脂肪計を使って特定保健指導を実施する予定である。</p>									
	3歳6か月児の虫歯の有病率 (%)	26.6	24.0	21.8	28.1	27.5	29.1	×	B	20.0
<p>＜成果と見直し＞</p> <p>乳幼児検診における歯科指導だけでなく、離乳食教室等でも歯科指導を実施するなど、虫歯予防対策に取り組んだが、有病率が悪化した。</p> <p>更なる対策として、妊婦に啓発するなど、妊娠期からの虫歯予防にも取り組む。</p>										

■施策④ 高齢者福祉・介護の充実

指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	R1			目標値 (R2)	
						実績	改善・ 悪化	達成度		
居宅サービスの年間受給者数(人)	10,659	10,788	11,030	11,097	10,093	11,097	△	A	12,790	
<p>＜成果と見直し＞</p> <p>居宅サービスの年間受給者数（平成 30 年度 10,093 人→令和元年度 11,097 人）は、前年度と比べ、ほぼ変わらない。</p> <p>介護サービスを希望する高齢者に対し、必要な居宅サービスの提供が図れていると考えられる。一方で、介護サービスを利用しない元気な高齢者を増やす必要もあるため、介護予防、重症化予防を行い、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、引き続き、地域による介護予防の取組を支援するなど、地域共生社会の実現を目指す。</p>										
シルバー人材センターの会員数(人)	199	203	205	209	209	216	△	A	230	
<p>＜成果と見直し＞</p> <p>当該センターによる新規会員加入の取組により、7人増加した。</p> <p>市としては、会員数の維持・増加に向け、引き続き、当該センターの運営費などを補助するとともに、地域における要支援者に対する新たな事業の展開など、事業の充実化を支援していく。</p>										
重要 業績 評価 指標 (KPI)	住民主体の介護予防教室数(教室)	0	27	52	57	65	69	△	A	20→70 (H29 変更) →75 (H30 変更) →80 (R2 変更)
	<p>【目標値変更理由 (H29)】</p> <p>平成 28 年度末で、箇所数は 52 教室となり、平成 31 年度（令和元年度）目標値（20）を既に大きく上回ったので、目標値を上方に変更する（70）。</p> <p>【目標値変更理由 (H30)】</p> <p>平成 29 年度に策定した「高齢者福祉計画・第 7 期介護保険事業計画」において、平成 31 年度（令和元年度）の目標値を 75 か所としているため、整合をとる（70→75）。</p> <p>【目標値変更理由 (R2)】</p> <p>平成 29 年度に策定した「高齢者福祉計画・第 7 期介護保険事業計画」において、令和 2 年度の目標値を 80 か所としているため、整合をとる（75→80）。</p>									
<p>＜成果と見直し＞</p> <p>平成 27 年 9 月から開始した住民主体の通いの場（地域介護予防活動支援事業）は、箇所数が 69、参加率が 10.7%（高齢者数に対する参加者数の割合）となり、県内でもトップクラスの実施率となった。</p> <p>引き続き、社会参加による介護予防を推進するため、住民主体の介護予防活動の場の立ち上げや継続支援を続ける</p>										

### ■施策⑤ 障害者福祉の充実

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	R1			目標値 (R2)
							実績	改善・ 悪化	達成度	
重要 業績 評価 指標 (KPI)	障害者等の年間相談支援者数 (人)	障害者 193	障害者 267	障害者 309	障害者 340	障害者 382	障害者 402	○	A	障害者 300
		障害児 24	障害児 29	障害児 34	障害児 41	障害児 42	障害児 44	○	A	障害児 40
	<b>《成果と見直し》</b> 障害福祉について、相談者に対し、積極的に相談支援事業所を紹介しており、くらしサポートセンターなどの他機関と連携し、相談を行っている。 今後も、取組を継続し、相談支援に努める。									
	障害者就労施設等の市 からの年間物品等調達 件数(件)	1	1	1	3	3	3	△	B	5
<b>《成果と見直し》</b> 調達物品等が継続調達できているものの、固定化している。 今後は、ふるさと納税返礼品やいきいき百歳体操ポイント交換品リストに登録するなど、調達件数の向上に努める。										

### ■施策⑥ 社会福祉の充実

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	R1			目標値 (R2)
							実績	改善・ 悪化	達成度	
重要 業績 評価 指標 (KPI)	高齢者等に対する見守り 支援活動地区(地区)	12	12	13	13	13	13	△	B	17
	<b>《成果と見直し》</b> 令和元年度においても、活動地区を増やすことができなかった。地区ごとに様々な課題を抱えており、見守り支援だけに特化できていない部分がある。特定の地区での取組は一定の成果をあげつつも、全市的な広がりになっていないのが現状である。 既存の民生委員・児童委員による訪問、まちづくり協議会による友愛訪問などが活発な地域を中心に社会福祉協議会などと連携を密にし、引き続き、取組地区を拡大させることとする。									

■施策⑦ 公衆衛生の確保

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	R1			目標値 (R2)
							実績	改善・ 悪化	達成度	
重要 業績 評価 指標 (KPI)	ゴミの総排出量(t)	10,098	9,504	8,994	8,812	10,651	13,269	×	B	8,513
	<b>《成果と見直し》</b> 令和元年度においても、平成 30 年 7 月豪雨災害の影響が続き、家屋の解体ゴミなどの総排出量が増加した。 引き続き、事業系一般廃棄物の減量化を進める必要があることから、各種補助制度の活用により、ゴミの減量化を図る。									
	ゴミのリサイクル率(%)	6.8	7.3	8.0	7.3	6.2	5.2	×	B	7.7
	<b>《成果と見直し》</b> 平成 30 年 7 月豪雨災害の影響が続き、リサイクルできないゴミが増加したことに伴い、ゴミのリサイクル率が減少した。 本市においても、更なる資源ゴミの回収を進めるため、引き続き、ホームページや広報によるゴミの出し方の周知及び処理施設での資源化の徹底により、リサイクル率の向上に努める。									

■施策⑧ 自然環境の保全

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	R1			目標値 (R2)
							実績	改善・ 悪化	達成度	
重要 業績 評価 指標 (KPI)	海ゴミの年間清掃活動(件)	13	16	78	92	78	100	○	A	20→90 (H29 変更)
	<b>【目標値変更理由 (H29)】</b> 地域環境保全対策費補助金を活用した、海岸漂着物等清掃業務を実施したことで、平成 31 年度(令和元年度)目標値(20)を大きく上回ったため、目標値を上方に変更する(90)。									
	<b>《成果と見直し》</b> シルバー人材センターに海岸漂着物等清掃業務を委託するとともに、ボランティアが活動しやすい場を提供するため、ゴミ袋の配布、ゴミ回収車両の出動などを行うことにより、市内海岸の環境保全に努めている。その結果として、目標値を達成することができた。 今後も、積極的に清掃活動に取り組む。また、海ゴミの減量化のため、市民向けにホームページや広報で呼びかけるほか、事業者を訪問して説明するなどの取組を行うこととする。									
	合併浄化槽の設置台数(台)	780	811	853	902	946	974	○	A	975
<b>《成果と見直し》</b> 令和元年度の設置台数は、28 台だった。平成 30 年度の設置台数(44 台)よりも 16 台減少した。 今年度も、目標値を達成するよう、チラシ、ホームページ及び広報を通じた補助金制度の周知により、設置促進を図る。										

■施策⑨ 大規模災害時の危機管理

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	R1			目標値 (R2)
							実績	改善・ 悪化	達成度	
重要 業績 評価 指標 (KPI)	地域防災リーダーの育成(人)	50	98	145	176	176	196	○	A	246
	<b>＜成果と見直し＞</b> 防災リーダー育成研修会を実施し、防災リーダーの増員が図れた。 引き続き、目標値を達成できるように、継続的な取組を実施する。									
	防災資機材の整備団体(団体)	2	2	6	10	15	17	○	A	17→19 (R1 変更)
	<b>【目標値変更理由(R1)】</b> 防災資機材の定義が明確でなかったため、救助器具(ジャッキ等)とそれを搬送するリヤカーに整理した。このため、実績を修正するとともに、平成31年度(令和元年度)目標値(17)を変更する(19)。									
<b>＜成果と見直し＞</b> 令和元年度においても、計画的な救助用資機材等の配備が完了した。 引き続き、計画に基づき整備を進める。										

■施策⑩ 総合的な消防体制の充実・強化

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	R1			目標値 (R2)
							実績	改善・ 悪化	達成度	
重要 業績 評価 指標 (KPI)	予防救急の普及啓発活動(件)	0	延べ 20	延べ 35	延べ 71	延べ 114	延べ 180	○	A	延べ 225
	<b>＜成果と見直し＞</b> 目標値を年間50件とし、消防署が実施している自治会や事業所などを対象とした地域指導時においても、積極的に予防救急の普及啓発活動を行った。 令和元年度の実施件数は、新型コロナウイルス感染症等による影響で4/4半期(令和2年1月～3月)は未実施となったが、前半期(平成31年4月～令和元年9月)の指導強化により、件数は目標値をクリアした。 今後も、高齢者に救急事故の原因や注意点、予防のポイントをお知らせし、救急搬送につながるケガや病気を未然に防ぐ取組を実施することで、救急件数の減少を図る。									
	人口1万人あたりの高齢者に 関係する年間出火率(件)	5.93	5.11	4.46	3.33	4.26	4.5	×	B	5
	<b>＜成果と見直し＞</b> 令和元年中に11件火災が発生し、そのうちの10件は、高齢者がかかわるものだった。高齢者に関係する年間出火率は4.5件で、昨年に比べ微増した。過去3年間、本市で発生した火災はその他火災が40%を超えており、その多くは高齢者の行うたき火からによるものだった。 このことから、その他火災の抑制に重点を置き、火災が発生しやすい気象状況での管内パトロールを強化するほか、現地での丁寧な直接指導等により、出火率の低減を図る。									

■施策⑪ 暮らしの安全確保

	指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	R1			目標値 (R2)	
							実績	改善・ 悪化	達成度		
重要 業績 評価 指標 (KP1)	子ども見守りグループ の育成(グループ)	4	2	3	—	—	—	—	—	6	
	特殊詐欺被害額(千円)	120,000	25,460	15,900	196	2,828	2,500	○	A	6,000	
	【指標変更理由(H29)】 子ども見守り活動は、現在、活動しているグループを啓発活動などで活性化させることを取組としているが、本市の現状で、より重点を置かなければならない防犯対策は、高齢者などを対象とした特殊詐欺被害防止であるため、特殊詐欺被害額の減少を新指標とし、被害防止のための普及啓発活動を行う。										
	<b>《成果と見直し》</b> 江田島警察署や江田島市防犯連合会と連携した啓発活動により、目標値を大幅に超えて達成した。 引き続き、防犯関係機関・団体と連携した啓発活動を行うことで、被害額の減少を図る。										
	消費者被害防止等の 年間啓発活動(回)	5	5	8	8	8	13	○	A	7→8 (H30変更)	
【目標値変更理由(H30)】 各町の民生委員に対する出前講座(年4回)と広報紙による啓発活動(年4回)が定着したため、平成31年度(令和元年度)目標値(7)を上方に変更する(8)。											
<b>《成果と見直し》</b> 昨年度と同様に、出前講座と広報による啓発活動を実施した。出前講座では、サロンや自治会に対しても実施することができた。 引き続き、全国消費生活情報ネットワークシステムを活用し、被害情報と対応方法を入手して消費トラブルに対応するなど、被害の未然防止と救済を行い、現在の啓発活動を維持しながら、被害の防止に努める。											

■施策⑫ 都市基盤の整備

	指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	R1			目標値 (R2)
							実績	改善・ 悪化	達成度	
重要 業績 評価 指標 (KP1)	法定外公共物(河川・水路)の改修補助件数(件)	単年15	単年16 延べ16	単年10 延べ26	単年10 延べ36	単年10 延べ46	単年10 延べ56	△	B	延べ75
	<b>《成果と見直し》</b> 令和元年度は、10件の成果があった。また、制度の見直しを行い、要綱の一部改正を行った。 今後も、受益者負担による公平性の観点から、制度に課題がないか検証を行いながら、引き続き、当該補助事業の執行に取り組んでいく。									



### ■施策⑬ 生活基盤の整備

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	R1			目標値 (R2)
							実績	改善・ 悪化	達成度	
	市営住宅の改修戸数(戸)	単年 10	延べ 15	延べ 20	延べ 30	延べ 36	延べ 42	○	A	延べ 42
重要 業績 評価 指標 (KPI)	<b>〈成果と見直し〉</b> 計画どおり改修を実施し、目標値を達成することができた。 令和2年度は、設計のみだが、令和3年度以降も、計画どおり事業を進めていく。									
	インターネットの加入率(%)	35.7	41.2	42.1	43.2	44.0	45.0	○	A	44.6
	<b>〈成果と見直し〉</b> 目標値を達成したが、新型コロナウイルスを想定した、人と人との接触を減らす対策にもつながるため、引き続き、加入率の上昇に向けた啓発に取り組む。 ※ 現在は、他業者が光回線を販売できるようになったため、市全体の加入率の把握が困難になっている。上記数値は、NTTに直接申し込んで加入した件数で、実際は、これよりも多いと考えられる。									

### ■施策⑭ 生活交通の確保

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	R1			目標値 (R2)
							実績	改善・ 悪化	達成度	
	航路利用者の前年比減少率(%)	△4.2	△4.3	△2.8	△3.5	△1.6	△7.0	×	B	△3.5
重要 業績 評価 指標 (KPI)	<b>〈成果と見直し〉</b> 平成30年7月豪雨災害時の道路寸断により航路利用者が大幅に増加し、平成30年度実績が改善した。この影響が大きく、令和元年度が大幅な減少率となった。 令和2年度において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が継続しているが、利用者の回復支援を図るため、航路事業者への補助制度などにより、目標値達成を目指す。									
	路線バスの年間利用者数(万人)	70	48	48	47	47	49	○	B	70
	<b>〈成果と見直し〉</b> 路線バスの利便性の向上を図るための第一歩として、令和元年度に路線バスへのICカード導入や江田島バス営業所移転によるゆめタウン周辺のターミナル機能の強化等を行った。 ICカードの導入に伴い、従来より詳しい利用実態の把握が可能となるため、データを踏まえつつ路線網の再編を図っていく。また、公共交通事業者と連携しながら、陸上交通と海上交通の接続改善を行い、各交通機関の乗換えの円滑化を図っていく。 なお、引き続き、公共交通に関する情報については、公共交通マップ、デジタルサイネージ及び路線検索システム(Google)を活用して、市民・観光客の目に触れやすい形で提供していく。									

■施策⑮ コミュニティの振興

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	R1			目標値 (R2)
							実績	改善・ 悪化	達成度	
重要 業績 評価 指標 (KPI)	まちづくり協議会の設置数 (協議会)	8	9	14	18	19	20	○	A	14→19 (H29 変更) →20 (R1 変更) →21 (R2 変更)
	【目標値変更理由 (H29)】 平成 31 年度 (令和元年度) 目標値 (14) を達成したため、目標値を上方に変更する (19)。									
	【目標値変更理由 (R1)】 平成 31 年度 (令和元年度) 目標値 (19) を達成したため、目標値を上方に変更する (20)。									
	【目標値変更理由 (R2)】 令和 2 年度目標値 (20) を達成したため、目標値を上方に変更する (21)。									
	<p>《成果と見直し》</p> <p>令和元年度中に、新たに 1 協議会 (鹿川まちづくり協議会) が設置され、残り 3 地区 (江田島町大須・幸ノ浦, 大柿町大古) となり、地域運営組織の基盤づくりが進展した。          今後は、まちづくり協議会未設置地域への働きかけを継続し、組織づくりや活動の充実による地域の活性化を図る。</p>									
	地域提案型活動支援 補助金の申請数 (件)	単年 3	延べ 12	延べ 21	延べ 35	延べ 46	延べ 62	○	A	延べ 39
<p>《成果と見直し》</p> <p>令和元年度の申請数が 16 件となり、新しい企画も増え、制度が浸透しつつある。          引き続き、制度の周知に努め、地域活動の掘起しや活動意欲の向上を促し、地域住民の自主的な活動の後押しができるようにするため、補助制度の見直しを行いながら事業を進める。ただし、令和 2 年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、集客イベント等の事業実施が困難な状況となっているため、申請受付を見合わせている。</p>										